

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市南部身体障害者福祉会館及びふじみ園	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 理事長 長谷川 忠司 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害福祉課長 障害計画課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害福祉課・障害計画課

2. 事業実績

利用実績	<p>【南身館】 〔講習会・ボランティア育成事業〕 ・社会福祉教室:小学生の部 全4回 166名、中学生の部 全3回 44名 ・親子手話教室:全3回 85名 ・入門点字講習会:全5回 47名 〔作業室〕 ・在籍数:生活介護 22名(定員20名)</p> <p>【ふじみ園】 ・在籍数:生活介護 50名(定員50名) 就労継続B 9名(定員10名)</p>																																																																	
収支実績	<p>身障会館 (円)</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>31,605,129</td></tr> <tr><td>委託料他</td><td>31,399,044</td></tr> <tr><td>その他</td><td>206,085</td></tr> <tr><td>支出</td><td>33,468,132</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>23,407,512</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>7,283,469</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>2,429,151</td></tr> <tr><td>その他</td><td>348,000</td></tr> <tr><td>差額</td><td>▲ 1,863,003</td></tr> </table> <p>ふじみ園 (円)</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>159,779,781</td></tr> <tr><td>受託加工事業</td><td>7,039,698</td></tr> <tr><td>自立支援費等</td><td>151,790,082</td></tr> <tr><td>その他</td><td>950,001</td></tr> <tr><td>支出</td><td>127,342,200</td></tr> <tr><td>就労支援事業</td><td>5,846,798</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>95,525,656</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>13,692,930</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>11,201,278</td></tr> <tr><td>その他</td><td>704,725</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>370,813</td></tr> <tr><td>差額</td><td>32,437,581</td></tr> </table>	収入	31,605,129	委託料他	31,399,044	その他	206,085	支出	33,468,132	人件費	23,407,512	事務費	7,283,469	事業費	2,429,151	その他	348,000	差額	▲ 1,863,003	収入	159,779,781	受託加工事業	7,039,698	自立支援費等	151,790,082	その他	950,001	支出	127,342,200	就労支援事業	5,846,798	人件費	95,525,656	事務費	13,692,930	事業費	11,201,278	その他	704,725	減価償却費	370,813	差額	32,437,581	<p>障害者福祉サービス (円)</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>54,768,088</td></tr> <tr><td>利用料他</td><td>53,589,615</td></tr> <tr><td>その他</td><td>864,023</td></tr> <tr><td>就労支援事業</td><td>314,450</td></tr> <tr><td>支出</td><td>41,821,406</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>31,655,080</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>5,909,749</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>3,631,951</td></tr> <tr><td>就労支援事業</td><td>300,626</td></tr> <tr><td>その他</td><td>324,000</td></tr> <tr><td>差額</td><td>12,946,682</td></tr> </table>	収入	54,768,088	利用料他	53,589,615	その他	864,023	就労支援事業	314,450	支出	41,821,406	人件費	31,655,080	事務費	5,909,749	事業費	3,631,951	就労支援事業	300,626	その他	324,000	差額	12,946,682
収入	31,605,129																																																																	
委託料他	31,399,044																																																																	
その他	206,085																																																																	
支出	33,468,132																																																																	
人件費	23,407,512																																																																	
事務費	7,283,469																																																																	
事業費	2,429,151																																																																	
その他	348,000																																																																	
差額	▲ 1,863,003																																																																	
収入	159,779,781																																																																	
受託加工事業	7,039,698																																																																	
自立支援費等	151,790,082																																																																	
その他	950,001																																																																	
支出	127,342,200																																																																	
就労支援事業	5,846,798																																																																	
人件費	95,525,656																																																																	
事務費	13,692,930																																																																	
事業費	11,201,278																																																																	
その他	704,725																																																																	
減価償却費	370,813																																																																	
差額	32,437,581																																																																	
収入	54,768,088																																																																	
利用料他	53,589,615																																																																	
その他	864,023																																																																	
就労支援事業	314,450																																																																	
支出	41,821,406																																																																	
人件費	31,655,080																																																																	
事務費	5,909,749																																																																	
事業費	3,631,951																																																																	
就労支援事業	300,626																																																																	
その他	324,000																																																																	
差額	12,946,682																																																																	
サービス向上の取組	<p>・会館作業室においては、利用者の希望を取り入れて製品販売の場を新たに3か所開拓し、利用者に参加することで、利用者の社会性の向上を図りながら地域社会の一員であることを実感できる支援を行った。また、新たに保育園児向けのシーツカバー作り代行を開始した。このことにより、作業種の拡大、工賃が前年度比で約2倍近く増額するなどの効果が図られた。</p> <p>・ふじみ園では、老朽化していた作業台や椅子を新しく購入し、利用者の安全と快適性を向上させた。また、第3者評価を受診するに当たり、提供するサービス全般を再点検し、さらに評価結果から、不足しているボランティアの獲得について次年度計画に反映させた。</p>																																																																	

3. 評価 (評価段階: 5~1,標準: 3,加点割合: 5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)</p> <p>・会館は、各種講習会の開催、地域・関係機関との連携等、仕様書に沿った安定した運営を行っている。また、作業室においては、見学や実習を受け入れ2名の新規利用者と契約したほか、休日外出を取り入れることにより家族の負担軽減やレクリエーション活動の充実を図った。</p> <p>・ふじみ園では、ニーズに基づいた個別支援を提供するにあたって、各支援マニュアルによる統一した対応の強化を図っている。また、支援学校の卒業生を1名受け入れる一方、30年以上の利用者が10名を超え、利用者の高齢化、利用者家族の死亡などにより、住み慣れた地域で暮らし続けるための基盤が不安定となった利用者については、各区保健福祉センターや他事業所と連携して、グループホームや移動支援等のサービス結びつける取組を強化している。</p>					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>・概ね良好な収支状況である。</p>					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館では、低年齢層向けに障害者に関する基礎的な接し方等を学ぶための講座を積極的に開催した。作業室では、利用者の障害重度化・高齢化、家族の高齢化による介護疲れなどのニーズを汲み取り、職員の勤務ローテーションを工夫して休日外出を実施したほか、ショートステイの案内や見学等の支援を行った結果、利用者・家族からも好評を得ている。 ・ふじみ園では、利用者主体の仲間の会で、テーマの一つに「ふじみ園で困っていること」を設定し、館内での利用者同士のマナーに関する意見を引き出して、意見聴取のみならず利用者の社会性向上の場とすることができた。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書の基準を満たす職員配置を行っている。また、積極的に外部の研修に参加することで、職員の資質向上に努めたほか、必要な研修については伝達研修を行うことで職員間での情報共有を図っている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふじみ園では、利用者とともに活動場所の整理整頓を行うこととした結果、日常的に床のごみに注意を向けたり、清掃員の休憩時に掃除を申し出る利用者も現れ、自分たちが利用する施設は自分たちで美化するという前向きな姿勢を引き出すことにつながった。 ・個人情報についても、取扱いに配慮し、「個人情報の保護に関する基本方針」、「事業所が取り扱いをする個人情報の利用目的」を定め、利用者によりわかりやすい形で提示するなど、適正に管理している。 				

4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・会館業務においては、地域に根差した会館として、各種社会福祉講座や研修会の開催によるボランティアの養成、各種団体等の活動と交流の場としての便宜の供与等、障害者福祉の向上・推進に努めており、障害福祉の普及・啓発に寄与した。
 ・作業室においては、利用者家族の高齢化が進み、日中は作業所、夜間はショートステイの利用など職員への負担が大きくなるなか、職員の勤務ローテーションを工夫して休日外出を実施した点、製品販売の機会を拡大した点は高く評価できる。
 ・ふじみ園では、支援学校の卒業生を受け入れ、若い利用者がある一方で、高齢化も進んでおり、多様な支援内容の提供に取り組んでいる。また、支援方法の統一を図り、利用者の安心と信頼の確保に努めているほか、これまで以上に、利用者が自ら自発性・社会性を維持・向上させることが活動の前提となるようプログラムの改善を進め、成果を上げている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・社会福祉講座の受講率及び会館利用率の向上に向けた検討を図ること。
 ・ふじみ園においては、利用者満足度調査から判断して、利用者家族との関係構築が一部で不足していると考えられるので、利用者・家族・園の3者が、お互いにそれぞれの役割や立場を理解し、緊密な関係づくりを促進する取組を着実に実施すること。